

伏見生へ

新任の先生からのおすすめ本



古一 利明先生(副校長)

『夢をかなえるゾウ』 水野敬也著

「自分、そのままやと2000%成功でけへんで！！」

勉強でも部活動でもどうもうまくいかない。思った通りにならない。運がない。うまくいかないから、つまらない。そう感じて、毎日をただ過ごしている生徒が多いと思う。うまくいかないのは運がないから？つまらないのは誰かのせい？やりたいものが見つからないのはなぜ？すべての原因は実は自分自身にある！！この本は15年前に大流行した本ではあるが、今の皆さんが気づかねばならないことが満載されている。なぜ今までうまくいかなかったのか？本気で幸せな人生を過ごしたいと思っているのなら、この本を読んで、まず「心を変えよう」！！

清水 英子先生(国語)

『春の雪』 三島由紀夫著

とにかく日本語が美しい！

これだけ美しい日本語が書ける作家はそういないのではないかと思います。妻夫木聡 & 竹内結子主演で映画化もされた悲恋のお話です。

徳田 哲詩先生(国語)

『泣き虫ハアちゃん』 河合隼雄著

著者が自分の子ども時代を小説にして、シンプルに描いた作品です。主人公の「ハアちゃん」を取り巻く周囲の人たちがとても温かくて、読んでいて心がきれいになるような気がしました。

平沢 亜由佳先生(国語)

『告白』 湊かなえ著

湊かなえさんのデビュー作であり、「このミステリーがすごい！(2008)」でもランクインした話題作でもあります。当時、中学生だった私も読書好きの友人に勧められ、初めて手にしたハードカバーの本でした。内容はとても衝撃的でしたが、どんな展開になるのかなかなか予想できず、どんな結末になるのかドキドキしながら読み進めることのできる作品です。

平田 原海先生(地歴公民)

『本当の自由を手に入れるお金の大学』

両@リベ大学長著

現代の世の中において、自由な時間を手に入れるには「経済的自由」を達成することが最も重要なことです。そのために「お金にまつわる5つの力」をバランス良く育てていく必要があるという内容です。

難しく思われがちなお金の話を、本書は圧倒的なわかりやすさで解説してくれます。本編は、著者とお金に関しては素人の「リーマンくん」の会話形式で進んでいきます。フルカラーで直感的にわかりやすいイラストが満載です。見た目の親しみやすさとは裏腹に、扱っている内容は本格的で、客観的なデータを図表で示しながら解説がされていくので万人受けする内容になっています。

北村 佳大先生(数学)

『数字であそぼ。』 絹田村子著

「数学は公式をたくさん覚えて問題を解く」ものではなく、「公式は覚えなくてよい。暗記科目ではない」ことを強調した、数学の紹介としてはたいへんよい本。

三原 知恵先生(理科)

『世界で一番美しい元素図鑑』

セオドア・グレイ著、ヒット・マン写真

写真がきれいなので、元素や周期表など、化学に興味がない人でも、眺めているだけで楽しめる一冊です。

元素についての説明も書いてあるので、化学に興味がある人は説明部分も読んで下さい。

宮崎 達也先生(保健体育)

『SLAM DUNK』 井上雅彦著

漫画なので図書館のおすすめの本にはなるかわかりませんが、もうかなり古い漫画なのに自分だけでなく多くの人の心をつかんでおられない名作だと思います。

神保 徹先生(保健体育)

『嫌われる勇気：自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見一郎、古賀史健著

「誰か」の期待を満たすために生きてはいけない。対話を通して、対人の悩みについて、人生の悩みについて解決していく本です。

橋本 優子先生(英語)

『夢と金』 西野亮廣著

お笑い芸人キングコングの西野というより、今は「えんとつ町のプペル」、絵本作家のイメージが強いかもしれない。私は近畿大学の入学式での彼のスピーチ動画を見て、彼の放つコトバの力に魅了され、以来彼の著書を全て読んでいます。彼の本はどれも読みやすく、進路に悩む生徒には是非読んでもらいたい。お金と夢は決して相反関係ではない。夢がもてない人にこそ、オススメの一冊。「80分あれば十分だ」という西野の言葉に乗っかってみませんか。

川内 斉先生(理科)

『ナマズはどこで卵を産むのか』 片野 修著

動物生態学者で、川魚を研究してきた著者が、フィールドワークから解き明かした魚の個性とは・・・。

柳橋 修先生(英語)

『緑の館』 W.H.ハドソン著

私が高校生の時に読み、友人にも紹介したら好評だった Love Romance です。

日本語訳、文庫本で出ています。